

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌医療秘書福祉& I T 専門学校

(旧:学校法人三幸学園 札幌医療秘書福祉専門学校)

学科名：診療情報管理士科

授業科目名	単位数
基礎看護学Ⅰ	4
基礎看護学Ⅱ	2
基礎看護学Ⅲ	1
疾患学Ⅰ	2
合計	9

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎看護学Ⅰ（解剖・生理）検定対策		
必修選択	選択	（学則表記）	基礎看護学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	診療情報管理士科	4	60
使用教材	①看護学入門 1 人体のしくみと働き ②新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語 ③パッとひける医学略語・看護略語 ④医療秘書技能検定実問題集 3級① 2025 ⑤医療秘書技能検定実問題集 3級② 2025			出版社	①メヂカルフレンド社 ②建帛社 ③照林社 ④⑤つちや書店

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	医学の基本である解剖学・生理学の基礎知識を理解する。				
到達目標	医療機関で活かせる医学の基礎知識を理解し、必要に応じて説明できる。				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅱ（解剖・生理）検定対策・疾患学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	井瀬 桂子	実務経験		○	
実務内容	北海道内の病院の手術室、透析室、整形外科外来に従事する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章総論	学習のねらい、到達目標、評価基準、医療秘書技能検定についての説明 解剖学・生理学概要、人体各部の名称、位置や方向を示す用語について
2	第2章 人体の構成 第3章 人体の器官系	人体を構成する細胞・組織・器官・器官系について
3	第4章 運動器系①	骨の形状や構造について
4	第4章 運動器系②	筋肉の解剖と生理について
5	第5章 体液	血液成分、性状、血液凝固、血液型、組織液、リンパについて
6	第6章 循環器系①	心臓の構造、機能について
7	第6章 循環器系②	血管、リンパ管およびリンパ節の構造について

8	第6章 循環器系③	血液循環について
9	第7章 呼吸器系	呼吸器系の構造、機能について
10	第8章 消化器系①	各消化器官の位置や構造、機能について①
11	第8章 消化器系②	各消化器官の位置や構造、機能について②
12	第8章 消化器系③	消化・吸収のメカニズム、エネルギー代謝について
13	第10章 泌尿器系	腎臓、尿路の構造と機能、尿生成と排尿のメカニズムについて
14	第12章 内分泌系	内分泌腺の構造と機能、ホルモン作用について
15	総まとめ、テスト	テスト実施と総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎看護学Ⅱ（解剖・生理）検定対策		
必修選択	選択	（学則表記）	基礎看護学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	診療情報管理士科	2	30
使用教材	①看護学入門 1 人体のしくみと働き ②新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語 ③パッとひける医学略語・看護略語 ④医療秘書技能検定実問題集 3級① 2025 ⑤医療秘書技能検定実問題集 3級② 2025			出版社	①メヂカルフレンド社 ②建帛社 ③照林社 ④⑤つちや書店

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	医学の基本である解剖学・生理学の基礎知識を理解する。				
到達目標	医療機関で活かせる医学の基礎知識を理解し、必要に応じて説明できる。				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅰ（解剖・生理）検定対策・疾患学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	井瀬 桂子	実務経験		○	
実務内容	北海道内の病院の手術室、透析室、整形外科外来に従事する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第13章 神経系①	医療秘書技能検定概要、学習評価基準などの説明 神経系の構造と機能について
2	第14章 感覚器系①	感覚器の構造、機能について
3	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
4	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
5	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
6	検定振り返り	実施された検定の振り返り、今後の授業展開を説明
7	第9章 体温	体温の定義、体温調節のメカニズムについて

8	第11章 生殖器系	男性・女性生殖器の構造、生殖の生理について
9	第7章 呼吸器系	呼吸器系の構造と機能の復習
10	第6章 循環器系	循環器系の構造と機能の復習
11	第8章 消化器系	消化器系の構造と機能の復習
12	第5章 体液	血液成分、血液凝固の復習
13	まとめ	これまでの復習
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り、総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎看護学Ⅲ（医療用語Ⅰ）		
必修選択	選択	(学則表記)	基礎看護学Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	①新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語 ②パットとひける医学略語・看護略語		出版社	①建帛社 ②照林社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	病院で働く者が知っておくべき医療用語や略語とその意味を正しく理解し、医療従事者として医師、看護師、その他のスタッフと円滑にコミュニケーションをとりながら業務を行うための知識を身につける。				
到達目標	医療用語に関する説明を読み、それがどの用語（日本語）に関する説明なのか判断できる。 また、重要な医療用語（日本語）について、それがどのようなものであるかを説明できる。				
評価基準	提出物：60% 単元テスト：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	基礎看護学Ⅰ(解剖・生理)検定対策・基礎看護学Ⅱ(解剖・生理)検定対策・疾患学Ⅰ				
備考	原則、この科目はオンデマンド授業にて実施する				
担当教員	井瀬 桂子	実務経験		○	
実務内容	北海道内の病院の手術室、透析室、整形外科外来に従事する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	1. 病院・診療機関に関する用語 2. 人体の名称	眼科～レントゲン室、顎～腰部の各用語
2	3. 薬に関する用語	アンブル～輸血の各用語
3	4. 診療科別用語①	各診療科にまたがる用語 (悪液質～レシピエントの各用語)
4	5. 診療科別用語②	循環器科の用語 (右心室～ペースメーカーの各用語)
5	6. 診療科別用語③	呼吸器科の用語 (咽頭～人工呼吸の各用語)
6	7. 診療科別用語④	消化器科の用語 (胃～腹腔ドレナージの各用語)
7	8. 診療科別用語⑤	泌尿器科の用語 (陰茎～尿道留置カテーテルの各用語)
8	9. 診療科別用語⑥	血液科の用語 (幹細胞～全血輸血の各用語)
9	10. 診療科別用語⑦	代謝・内分泌科の用語、アレルギー科・膠原病科の用語 (下垂体～自己注射、胸腺～ループス腎炎の各用語)
10	11. 診療科別用語⑧	脳神経科（精神科含む）の用語、産婦人科の用語 (延髄～パーキンソン病、会陰～非配偶者間人工授精の各用語)

11	12. 診療科別用語⑨	整形外科の用語 (黄色骨髄～ギプスの各用語)
12	13. 診療科別用語⑩	感覚器系の用語 (外耳～電気焼灼の各用語)
13	14. 診療科別用語⑪	感染症科の用語 (易感染性～ワクチンの各用語)
14	5. 検査に関する用語	検体～硫酸バリウムの各用語
15	単元テスト	学習内容全体に関するテストを行い、再度知識の定着を図る。

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	疾患学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	疾患学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	診療情報管理士科	2	30
使用教材	①新医療秘書医学シリーズ③ 臨床医学Ⅰ内科 ②新医療秘書医学シリーズ④ 臨床医学Ⅱ外科 ③新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学			出版社	建帛社

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	学んだ人体のしくみを基礎に、疾病の成り立ちや診断（検査）、治療法を内科・外科の両面より習得する。				
到達目標	現場でよく使われている医療用語を説明することが出来る。				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅰ(解剖・生理)・基礎看護学Ⅱ(解剖・生理)検定対策、基礎看護学Ⅲ（医療用語Ⅰ）、医事業務実践ベーシックC				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	椎名 友章	実務経験		○	
実務内容	大学病院、脳神経外科クリニックに23年間勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに 1. 内科・外科とは	学習の目的・目標・進め方の説明 内科的治療（P1）と外科で扱う疾病（P2）の特徴について
2	検定対策	医療秘書技能検定に向けての対策
3	検定対策	医療秘書技能検定に向けての対策
4	検定対策	医療秘書技能検定に向けての対策
5	検定対策	医療秘書技能検定に向けての対策
6	呼吸器疾患	主な疾患：呼吸器感染症、インフルエンザ、肺炎、結核など
7	呼吸器疾患	主な疾患：呼吸器感染症、インフルエンザ、肺炎、結核など
8	循環器疾患	主な疾患：高血圧症、虚血性心疾患・狭心症、心筋梗塞

9	循環器疾患	主な疾患：高血圧症、虚血性心疾患・狭心症、心筋梗塞
10	消化器疾患	主な疾患：口腔疾患、食道疾患、逆流性食道炎、食道静脈瘤、食道癌
11	消化器疾患	主な疾患：口腔疾患、食道疾患、逆流性食道炎、食道静脈瘤、食道癌
12	消化器疾患	主な疾患：口腔疾患、食道疾患、逆流性食道炎、食道静脈瘤、食道癌
13	消化器疾患	主な疾患：口腔疾患、食道疾患、逆流性食道炎、食道静脈瘤、食道癌
14	期末テスト	期末テスト
15	5. 血液疾患 まとめ	主な疾患：貧血、白血病、血液凝固異常 授業のまとめ